

平成31年度 事業報告

鈴鹿市シルバー人材センターでは、少子高齢化が全国的に進む中、高齢者に対して、長年培った豊かな経験と知識、技能を活かすことのできる就業機会を提供し、高齢者の社会参加を図ることにより、健康の維持・増進や生きがいづくりを促進するとともに、活力ある地域社会づくりに寄与してきました。

平成31年度は、平成29年度に策定しました「中期計画」に基づき事業に取り組むとともに、会員と役職員が一丸となって事業拡大を図るべく諸施策を講じてまいりました。

特に、「会員の拡大」「就業機会の拡大」「安全就業の徹底」等を重点項目として各種事業に取り組みました。

会員の拡大では、定例の入会説明会に加え、地域に出向いて入会説明会を開催しました。また、新たに自治会回覧板広告や電柱広告、コミュニティバス車両広告などを実施するとともに、以前から実施している鈴鹿市老人クラブ連合会広報紙等でPRし会員確保に努めましたが、3月末の会員数は831人で、前年度の869人を下回りました。また中期計画の平成31年度末の目標値である880人にも届きませんでした。

就業機会の拡大では、計画的かつ定期的な事業所訪問等を行うことにより、受注開拓に取り組みました。

安全就業対策としては、安全適正就業委員会で計画した安全就業パトロールや職群班による安全講習会を実施し、会員の安全就業意識の高揚を図り事故防止に努めましたが、残念ながら就業に係る事故は、発生件数は多少減少しましたが、物損事故、人身事故で見てもみますと人身事故が昨年度を大きく上回ってしまいました。

また、安定した事業運営を続けていくために、「適正就業の徹底」、「組織体制の強化」等に取り組むとともに、計画的かつ効果的に事業運営を行い、活力ある地域社会づくりに貢献する、魅力あるシルバー人材センターの構築に努めてまいりました。

以下、平成31年度の事業実施状況と事業実績について、次のとおり報告します。

I 事業実施状況

(1) 就業機会の拡大と提供

会員及び入会申込者の就業機会を確保するため、就業機会創出員を3名配置し、事業所を訪問することにより新たな就業先の開拓に努め、平成31年度は28件の新規契約を確保しました。

また、家庭向け業務紹介チラシを作成し自治会回覧するとともに、適正就業ガイドラインの説明を行い、請負や派遣業務における就業先の開拓に努めました。

(2) 会員の増強

シルバー人材センター事業の発展は、会員の増強と就業機会の拡大にあります。

このことから、平成31年度は住吉、国府、牧田、郡山、清和の5か所の各公民館を会場として、地域説明会を開催するとともに、毎月1回、定期的にシルバーのしくみを説明する入会説明会を開催しました。

また、民間情報誌等を活用して会員募集を行うなど、一層の会員確保に努めました。

併せて、(1)の就業機会の拡大と提供、(7)の技能講習の開催の取組みを通して、入会者の増加に努めました。

(3) 福祉・家事援助サービスの推進

平成29年度から始まりました鈴鹿市の介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービスB)については1件実施しました。

また、さらなる受注の増大に備え、質の高いサービスを提供するために、関係機関・団体等との情報交換や企業訪問、リーダー会議等を通して、発注者や就業会員の多様なニーズの的確な把握に努めました。

(4) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の目的や事業内容を広く市民に周知するため、以下の普及啓発活動を行いました。

1. 会報「シルバーすずか」を年2回(8月、12月)発行するとともに、全国シルバー人材センター事業協会の機関誌(月刊シルバー人材センター)を関係機関等に配布しました。
2. 市広報「すずか」10月5日号に、特集記事を掲載しました。
3. 新聞等報道機関に当センターの様々な取組みを情報提供しました。
4. 「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」にショッピングセンター4か所で普及啓発用チラシを配布しました。
5. 自治会回覧板や電柱、Cバスのラッピング広告等によりPRを行いました。
6. 就業を通じた普及活動として、ネーム入りベストの着用や会員の口コミによるPRを推進しました。

(5) 安全適正就業と健康管理

安全就業と健康管理のために、次の取り組みを行いました。

全会員を対象とした安全適正就業大会では、保健師による「フレイル予防」や管理栄養士による「栄養」に関する講演と高齢者の交通事故等が多発していることから、鈴鹿市職員による「高齢者の交通安全について」の講演を受け、健康管理と交通安全について日頃からの注意を呼び掛けるとともに、日常の健康管理の一助として健康体操を行いました。

職群班による安全講習会では、作業中の事故防止の徹底と安全意識の高揚を図りました。

また、安全・適正就業委員会で計画した安全就業パトロールを実施して、就業現場での指導、助言に努めました。

さらに、新たな会員を対象に行う就業説明会においても、安全適正就業について講習を行いました。

しかしながら、就業中の事故発生状況を見ると、人身事故は昨年度と比べて9件増え24件発生しています。

なお、適正就業にも取り組み請負から派遣への切換えについても成果を上げることができました。

(6) 教育訓練の充実

就業中の会員を対象に、必要な知識を習得し、安全で適正な就業を行うための講習会、研修会を開催しました。

1. 派遣就業会員を主な対象とした接遇マナー研修
2. 運転業務従事者を対象とした交通安全講習

(7) 技能講習会の開催

当センター主催の独自講習会を開催するとともに、シルバーでの就業を希望する市民を対象として、就業に必要な知識及び技能を付与することを目的とした高齢者活躍人材育成確保事業技能講習を三重県シルバー人材センター連合会と共同で実施しました。

1. 独自講習会
剪定技能講習・パソコン等講習・ライフサポートサービス講習（料理・健康体操・健康講座など）
2. 高齢者活躍人材確保育成事業技能講習会
公園管理就業体験・調理補助技能講習

(8) 中期計画の検証

平成29年度からの中期計画に基づいた事業の進捗と目標値の達成状況を検証するため、中期計画推進委員会を開催し、各事業の課題と今後の展開

について検討しました。

(9) 調査研究活動

各種機関・団体が主催する会議や研修会・講習会等に会員・役職員が参加し、情報交換を密にするとともに、事業運営に必要な知識の取得、資質の向上を図りました。

また、センターの運営の参考とするため、愛知県の豊川市シルバー人材センターへの視察研修を実施するとともに、就業機会の拡大と提供のために、就業機会創出員が関係団体の研修会に参加しました。

さらに、シルバー派遣事業の充実を図るために、関係団体が開催する研修会等に職員が参加し、能力の向上を図りました。

(10) 組織体制の強化

シルバー人材センターの自主運営体制を推進するため、会員組織の充実や機能強化を図りました。

特に、職群班はセンターの理念である「自主・自立、共働・共助」を支える重要な組織として位置付け、リーダー会議等を通して職群班の運営・活動の充実に努めました。

また、地域班設立準備のための調査、研究を行いました。

(11) 地域貢献の推進

「シルバー福祉・家事援助サービス月間」において福祉・家事援助サービス班による公共施設の除草清掃ボランティア活動を実施しました。